

自主的・協働的に学ぶ

第3回授業研究会

7月4日（火）今年度3回目の授業研究会を行いました。

お招きした講師の先生は、

元文部科学省 教科調査官 前京都女子大学 教授 井上 一郎先生

北部学校教育事務所ハマアップ 授業改善支援員 永池 啓子先生 です。

今年度も、「自ら問い、自己選択・自己決定しながら学び続ける子どもの育成 ～一人一人が『自覚的な学び』を繰り返す学びのデザイン～」をテーマに授業研究会を行い、授業力を向上させていただきます。

3年3組

単元名 「目指せ、話し合い名人！～役わりを意しきして、グループで意見をまとめよう～」

教材名 「はんで意見をまとめよう」

これまでの話し合い活動を振り返り、「時間を守って計画的に話し合えるようになりたい。」など自分たちの課題を明確にしてから話し合いの学習に入りました。

話し合いの回数を重ねる度に、グループ全員が理由を明確にして自分の意見を伝えたり、自分の役割（司会・記録・時間・報告）に責任をもって取り組んだりする姿が見られるようになりました。最後の話し合いでは、「一年生が喜ぶような読み聞かせの絵本を一冊選ぶ」というゴールに向かって、グループで意見をまとめることができました。



1年1組

単元名 「なつたとびだそう」

教材名 「みずやすなでもあそぼう～しゃぼんだまだったのしいね～」

「とっておきのしゃぼん玉をつくろう」というめあてのもと、割り箸や毛糸など自分の作りたいしゃぼん玉に必要な道具を一人一人が用意して活動しました。友達と一緒に工夫して、満足いくしゃぼん玉ができるまで何度も繰り返して遊ぶことを通して、しゃぼん玉遊びの面白さや、みんなと遊びをつくり出す楽しさを感じるようになりました。楽しみながらどんどんしゃぼん玉作りが上達して、自分自身の成長を感じられる活動となりました。



5年2組

単元名 けがを減らすために、自分たちの行動や環境を見直そう

教材名 「けがの防止」

白幡小学校の5月のけがの人数や自分たちのけがの経験から、けがが起こる場所や多いけがの種類について予想をしました。実際の結果を確認すると、「校庭よりも教室の方が、けがが多いのは为什么呢かな。」「けがの種類で打撲が多いけど、どうしてだろう。」などと、自分たちで課題をもって、原因を調べていこうとする姿が見られました。



6年4組

単元名 目指そう！つながる、広がる、深まる話合い

～「対話力」を身に付けて話合い活動をレベルアップし、これからの学習や生活に生かそう

教材名 『哲学対話』で話そう！聞こう！

日々の話合い活動の中で自分たちの課題に気づき、「話合いを通して、考えを広げたり深めたりしたい。」という目標を子どもたちがもつことから学習が始まりました。「自分の考えを自信をもって伝えたい。」「友達の考えを詳しく知りたい。」など、一人一人が自分のめあてをもって「哲学対話」に参加しました。質問し合うことで、相手の考えをよく理解したり、自分の考えが広がったりするのを感じながら話し合うことができました。



2年4組

単元名 まちをたんけん大はっけん

教材名 「まちたんけんをして つうがくろのあんしん・あんぜんをはっけんしよう」

通学路やまち探検で見つけたものを比べて、まちの「安全」や「安心」を探するという学習に取り組みました。自分とは違うルートの友達の話を聞いて、「自分の通学路と同じものや違うものがある、みんなの通学路も安全・安心であることが分かった。」「友達の話と比べて、自分の通学路にも八百屋の店長をやっていた人が立ってくれている。」などと振り返り、一人一人が気づきや考えを深めていました。



5, 6組

単元名 遠くへ力強く！狙いを定めて！ボール投げマスターになろう！

教材名 「ボール投げゲーム」

「様々なボールを力強く投げることを楽しむこと」「みんなで協力して楽しいゲームにすること」という目的をもってボール投げゲームに取り組みました。慣れの運動から、「どうしたら遠くまでボールが飛ぶか」「どうやって狙ったところへボールを飛ばせるのか」などを考えて取り組みました。また、ゲームを通して、クラスの全員が楽しむために、どんなルールにするとよいかを考えながら学習を進めることができました。

